

綺麗な海、生物多様性の海に軍港が作られようとしている。沖縄には軍艦が入れる深い湾は2つしかなく、大浦湾がその一つ。軍港ができれば、原子力潜水艦も入港し、その排水には放射性物質が入っており海を汚す。すでにサンゴの8割は死んでいる現状なのに・・・。

普天間基地が返ってくると思っていたのに、騙されたと知った時に県民の怒りが本気の怒りになった。辺野古の闘いの先頭には、沖縄戦やアメリカ統治下を経験したおじいやおばあ達が「人柱になって止める」と、身を挺して頑張ってきた。戦



後 27 年間は人権が無視され、復帰後も沖縄は引くに引けない闘いばかりを強いられている。軍事優先の日本だけど、沖縄はとっくに軍事優先。だから、人々は暮らしや仕事を犠牲にしてまで頑張っている。しかし、この事実が全国に伝えられていない。今後も、沖縄で起きていることを発信し続けたいと締めくくられました。

三上監督からは、沖縄の最新の動向が伝えられるとともに、辺野古の住民の闘いも追った次回作品にかける熱い思いも語られました。映画と講演に感動した参加者から、三上監督へのカンパが次々と寄せられ 236 千円に達しました。皆さん、ご協力有難うございました。

## 「集団的自衛権行使容認」反対を訴える

10月6日兵庫県下護憲6団体による一斉街頭宣伝が、県下58個所で行われました。芦屋「九条の会」はJR芦屋駅前の街頭に参加（総勢20数名）。台風18号の余波で強風が吹く中、「集団的自衛権行使の判断は時の政権に委ねられており、限定的であれ行使すれば他国の戦争に参戦することになりはしない」ことを訴えました。年内に予定される日米安保ガイドライン見直しや、来年の通常国会では安保法制関連法案（自衛隊法、PKO法、周辺事態法等）の提出が予定されており、9条の破壊を許さないためには、これからがまさに正念場です。

## 10・21 国際反戦デー 芦屋地区連帯集会

日時：10月21日（火）  
午後6時～  
会場：芦屋市役所北広場

約40分の集会とJR芦屋駅北デッキまで、「憲法を守り、反戦・平和を!」と訴えながらピース・ウォークをします。実行委員会形式で行いますが、芦屋「九条の会」はそれに加わっています。

多数ご参加ください。



## 署名ありがとうございました

前回ニュースでお願いしました「署名」（請願趣旨：集団的自衛権行使は平和憲法の破壊。憲法9条を守り生かす）は10月9日現在で225筆に達しました。「足が悪くなかなかイベントには参加できないが、今の政治情勢には我慢できず、

自分ができるささやかな行動として署名した」という方や、「遠方の親戚・知人・友人にも呼びかけて一人で何筆も集めた」という方も多く、ご協力頂いた方に感謝申し上げます。第一次集約は2014年末です。まだご署名お済みでない方は是非ご協力をお願い致します。（事務局）